

# 市長 新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。どうぞ、本年もよろしくお願い申し上げます。

## ■平成27年を振り返って

さて、平成27年を振り返りますと、本市が推進する市民協働施策の柱である地区まちづくり会議では、市内7地区において、地区の特性に応じた課題の解決に向けたまちづくり活動が実践されました。本年は、第1期会議委員の皆さんからの、思いの込められた市への提言を、今から楽しみにしています。

また、市民の皆さんにもご心配をおかけした旧志木市立市民病院でありましたが、昨年9月に地域医療の拠点となる「TMG宗岡中央病院」として、グランドオープンしました。TMG宗岡中央病院では、内科・外科・整形外科・小児科・リハビリテーション科、さらには、もの忘れ外来の診療も行われており、3月中旬からは、救急病院としても機能する予定となっています。超高齢社会を迎え、地域医療体制の充実を図るためにも、TMG宗岡中央病院としっかりと連携をしていきたいと考えています。



さらに、市では、昨年10月から40歳以上の市民を対象に「健康寿命のばしマッスルプロジェクト」と題し、健康寿命県内第1位の奪取に向けて市民総ぐるみの健康づくり事業をスタートしました。このプロジェクトでは、有酸素運動とバランスのよい食事指導、そして筋力アップトレーニングを三位一体で取り組むとともに、健康増進につながる行動や身体が改善した場合には、商品券と交換可能なポイントが獲得できるなど、参加者の健康づくりに対するモチベーションアップに向けた取組も進めています。5月には、新たな参加者を募集する予定でもありますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

## ■本年予定している主な事業

魅力あるまちづくりを進めるために、子育て施策は重要な柱であります。本年は、新たな子育て支援策として、在宅で子育てをしている保護者の皆さんのリフレッシュを目的とした「在宅子育て支援事業」を実施します。県内でも、在宅で子育てをする家庭を対象とした先駆的な取組であるこの事業は、具体的には、無料で一時保育のできるクーポン券を1歳児と2歳児のいる保護者にプレゼントするもので、子育ての負担軽減や地域との絆づくり、さら



には、児童虐待などの予防にもつなげていきたいと考えています。

また、太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入を図るため、4月には、市内すべての小中学校の屋上に太陽光パネルを設置します。これにより、地球温暖化防止の対策として二酸化炭素の排出の抑制を図るとともに、災害時に設置されるすべての避難所の電力確保を図っていきます。

加えて、約1千700基の道路照明灯のLED化も進めていきます。既に進めている、防犯灯のLED化とあわせますと市内全域の道路照明灯、防犯灯のLED化が完了します。引き続き、明るく安心、安全で環境にやさしいまちづくりを推進していきます。

さらに、市民の「足」の確保に向けて実証実験を行っています。既存のタクシー車両を利用したデマンド交通については、昨年7月の開始から5か月で、延べ1万2千人を超える利用があり、多くの市民の皆さんから好評の声をいただいています。今



後は、利用される皆さんの声をお聞きしながら、他の公共交通機関に与える影響や費用負担のあり方などを多角的に検証しつつ、継続して実施ができるよう準備を進めていきます。

以上、主な事業の一端を申し上げますが、私自身、日頃の皆さまとの関わりの中で、着実に「市民力」がまちづくりの中に浸透してきていると感じています。本年も、「市民力」でつくる未来へ続くふるさと志木市に向けて、全力で市政運営に取り組んでいきますので、市民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

志木市長

香川武文